



令和元年神奈川県内における 特殊詐欺発生状況等について



令和2年1月版
神奈川県警察本部
生活安全総務課

1 特殊詐欺認知状況

	令和元年12月末（暫定値）			前年同期比	
	件数	構成比	被害総額	件数	被害総額
特殊詐欺	2,790	--	約50億7,200万円	+16	-約10億4,400万円
特殊詐欺（詐欺・恐喝）	2,011	72.1%	約39億3,800万円	-593	-約19億5,400万円
主要手口	2,011	72.1%	約39億3,800万円	-590	-約19億5,200万円
オレオレ詐欺	1,460	52.3%	約22億6,400万円	-426	-約14億4,400万円
警察官をかたるキャッシュカード手交	956	34.3%	約10億5,500万円	-132	-約4億100万円
架空請求詐欺	226	8.1%	約13億900万円	-125	-約4億2,600万円
融資保証金詐欺	15	0.5%	約1,700万円	-10	-約1,700万円
還付金等詐欺	310	11.1%	約3億4,800万円	-29	-約6,500万円
キャッシュカードすり替え型（窃盗）	779	27.9%	約11億3,400万円	+609	+約9億1,000万円

2 特殊詐欺被害者の傾向

	被害者												
	男性		女性		59歳以下		60歳代		70歳代		80歳以上		
特殊詐欺	2,790	618	22.2%	2,172	77.8%	160	5.7%	243	8.7%	1069	38.3%	1318	47.2%
特殊詐欺（詐欺・恐喝）	2,011	411	20.4%	1,600	79.6%	140	7.0%	205	10.2%	734	36.5%	932	46.3%
オレオレ詐欺	1,460	216	14.8%	1,244	85.2%	11	0.8%	47	3.2%	535	36.6%	867	59.4%
架空請求詐欺	226	67	29.6%	159	70.4%	85	37.6%	58	25.7%	63	27.9%	20	8.8%
融資保証金詐欺	15	11	73.3%	4	26.7%	11	73.3%	3	20.0%	1	6.7%	0	0.0%
還付金等詐欺	310	117	37.7%	193	62.3%	33	10.6%	97	31.3%	135	43.5%	45	14.5%
キャッシュカードすり替え型（窃盗）	779	207	26.6%	572	73.4%	20	2.6%	38	4.9%	335	43.0%	386	49.6%

被害者の傾向を性別で見ると、女性が全体の約8割を占めています。
また、年齢別に見ると**70歳以上の方が全体の8割以上**を占めています。

3 特殊詐欺だましの手口

(1) オレオレ詐欺

	件数	鞆紛失		使い込み		金銭借用等		妊娠トラブル		警察官騙り等		その他	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
令和元年1～12月	1,460	171	11.7%	58	4.0%	124	8.5%	16	1.1%	971	66.5%	120	8.2%
平成30年1～12月	1,886	319	16.9%	89	4.7%	146	7.7%	36	1.9%	1,113	59.0%	183	9.7%
増減	-426	-148	--	-31	--	-22	--	-20	--	-142	--	-63	--

特殊詐欺被害の**半数以上**を占めるオレオレ詐欺は、息子や孫などを装い、「鞆をなくした。」「会社の金を使い込んだ。」「保証人になってしまった。」などの名目で現金を用意させ、上司や同僚を装う犯人が現金を受け取りに来るものです。

その中でも、オレオレ詐欺の6割以上を占めるキャッシュカード手交型の手口は、昨年も多く発生しました。この手口は、**警察官、デパート従業員、役所**などをかたり、

「詐欺の犯人を捕まえたら、あなたの名前が入った名簿が出てきた。」
「あなた名義のカードを使って高額な買い物をしている人がいる。」
「医療費の還付金があります。」

などと連絡し、その後、銀行協会や金融庁の職員を装った犯人から電話があり、

「個人情報が出ているためキャッシュカードの交換が必要。」
「あなたのキャッシュカードが古いので、新しくする必要があります。」

と言って、手続に必要という理由で**暗証番号**を聞き出し、被害者宅を訪れた受け取り役の犯人が、古いカードの回収を名目に**キャッシュカードを直接だまし取る手口**となっています。

(2) 架空請求詐欺

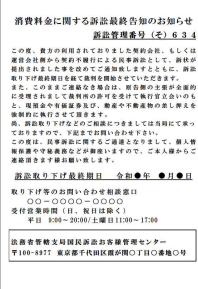
	件数	名義貸しトラブル		サイト料		訴訟関係 (その他)		被害回復		その他	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
令和元年1～12月	226	33	14.6%	96	42.5%	79	35.0%	0	0.0%	18	8.0%
平成30年1～12月	351	81	23.1%	153	43.6%	101	28.8%	1	0.3%	15	4.3%
増減	-125	-48	--	-57	--	-22	--	-1	--	+3	--

メール等を利用し、「**有料サイト登録料金未納**」などを名目にコンビニエンスストア等で**電子マネー**を購入させ、裏面の番号を聞き出したり、収納代行により支払わせる手口が多くなっています。

また、「**訴訟最終告知のお知らせ**」、「**民事訴訟管理センター**」などと記載されたハガキや封書が届き、訴訟回避などの名目で電子マネーを購入させて支払わせたり、現金を送付させる手口も、発生しています。

その他、証券会社などをかたり「**債券を購入する権利があります。権利を譲ってください。**」などと話を持ち掛け、後日「**インサイダー取引に当たります。**」「**名義貸しは犯罪です。**」などと不安をあおり、トラブル解決名目で現金を要求する手口もあります。

高額の電子マネーを購入する方、特に高齢者に対し、積極的な声掛けをお願いします。



(3) 融資保証金詐欺

融資をうたったメールやFAX等が届き、申し込みをすると、「審査は通ったが、**保証金が必要**です。」などと言われ、現金を振り込ませるものです。

(4) 還付金等詐欺

役所等の職員をかたり「**医療費（保険料）の払い戻しがあるので、お金が戻ります。今日が期限**です。」などと言って**ATM**に行かせ、携帯電話で操作方法を指示し、言葉巧みに**ATMを操作させてお金を振り込ませる**ものです。

犯人は、被害者に対する声掛けをさせないようにするため、商業施設や駅前等に設置された**無人ATM**に行くように具体的に指示する傾向にあります。

高齢者 + 携帯電話を使用 + ATM操作 =



(5) キャッシュカードすり替え型(窃盗)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	被害総額(1-12月)
H29年	0	0	2	8	11	9	3	2	4	11	24	16	90	約1,800万円
H30年	12	29	26	14	2	10	5	9	9	10	18	26	170	約2億2,400万円
R1年	23	24	32	48	45	53	57	52	69	141	152	83	779	約11億3,400万円

キャッシュカードを窃取する手口は、昨年1年間で779件発生し、前年比+609件と急増しました。キャッシュカード手交型とだます手口は一緒ですが、キャッシュカードを直接受け取るのではなく、被害者宅を訪れた犯人が、

「**新しいカードが届くまで、この封筒に入れて保管して下さい。**」

と言って、あらかじめ犯人が用意した封筒にキャッシュカードを入れさせ、

「**封筒に封印をするので、印鑑が必要です。**」

などと言って、被害者が印鑑を取りに行くため、目を離した隙に、あらかじめ用意していたポイントカード等が入った**封筒とすり替える**ものです。

銀行協会等の職員が自宅に赴き、「**暗証番号を聞く**」「**キャッシュカードの保管をお願いします**」ことは**絶対**にありません。

4 特殊詐欺の被害防止状況

令和元年中は、関係機関・団体等の御協力により782件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。今後も、皆様の広報啓発活動や積極的な声掛けにより、1件でも多くの被害を防いでいきたいと思っておりますので、引き続き、本年も御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



電話で「**キャッシュカード**」と言われたら **それはサギ!!**